

「熊谷式 3 期分類」を取り入れた新しい認知症ケアを確立、周辺症状を緩和 4 月 1 日よりグループホームに続き認知症対応型デイサービスで導入開始

セントケア・ホールディング株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:森猛)は、各地域の介護関連子会社が運営するグループホーム^{※1}で先行的に実施していた「熊谷式 3 期分類」を取り入れた新しい認知症ケアを、4 月 1 日より認知症対応型デイサービス^{※2}においても導入開始します。

「熊谷式 3 期分類」は、認知症治療が専門の京浜病院(東京都大田区)が提唱する独自の認知症ケア手法で、認知症の人の表情や言動により認知症の周辺症状を「混乱期」「依存期」「昼夢期」の 3 つに分類し、それぞれに適切な対応を行うことで、症状の改善、緩和を図るものです。当社では、当該手法について京浜病院の臨床研修で学び、「熊谷式 3 期分類」のアセスメント手法を取り入れ、介護施設に適したケア手法を確立しました。今年 1 月からこの新しい認知症ケアを各地域のグループホームで先行的に実施していましたが、利用者の周辺症状が緩和されるなど一定の効果があったため、このたび認知症対応型デイサービスへも導入することを決定しました。

【背景】

厚生労働省は、平成 22 年時点で、全国の 65 歳以上の高齢者(2,874 万人)のうち、認知症の人は 15%の約 439 万人、認知症になる可能性がある軽度認知障害(MCI^{※3})の人は約 380 万人と推計しています。このうち、介護保険制度を利用している 65 歳以上の認知症の高齢者は約 280 万人で、団塊の世代が 75 歳以上になる平成 37 年には約 470 万人に増えると推定しています。

認知症の症状は、病気の進行に伴って全ての人にみられる記憶障害などの「中核症状」と、体調や生活環境などが絡み合って現れる「BPSD^{※4}」と呼ばれる周辺症状の 2 つに分類されます。「周辺症状」は適切な対処を行うことで改善や緩和が期待できることが最新の研究で明らかになっています。周辺症状が現れると家族など周囲の負担が重くなるため、周辺症状の緩和は認知症の支援策として欠かせないものであり、音楽療法やアニマルセラピー等、さまざまなケア手法が注目を集めています。



【イメージ】 デイサービスでの音楽療法
株式会社 福祉の街「ふくしのまち上尾」で撮影

当社グループは、創業以来注力して参りました在宅介護サービスを基盤として地域包括ケアシステムに対応し、「在宅の施設化」を推進しています。認知症の人が、住み慣れた地域で馴染みのある方々に囲まれ、可能な限り自宅で限り暮らし続けることができるよう、ご本人とご家族に対する支援の充実に取り組んでいます。この取り組みのさらなる強化に向け、当該認知症ケアを、当社グループで運営するすべてのグループホームと認知症対応型デイサービスへ、本年 5 月を目標に導入を完了する計画です。

- ※1 認知症の高齢者が、専門の介護スタッフの援助を受けながら少人数で共同生活を送る、地域の住民だけが受けられる地域密着型のサービス。認知症状を緩和し家庭介護の負担を軽減することで、住み慣れた地域で生活を継続できることを目的としている。
- ※2 地域密着型の認知症の人専用のデイサービス。12 人以下の少人数制により、きめの細かい専門的な認知症ケアが受けられる。
- ※3 MCI のすべての人が認知症になるわけではありません
- ※4 behavioral and psychological symptoms of dementia

【熊谷式 3 期分類のメリット】

- 看護・介護スタッフの経験やスキルによらず、認知症の周辺症状に対するアセスメント(評価)が可能です。
- 認知症の病期を 3 期に分類することで状態像を特定し、その期にあった統一したケアを提供できます。
- 認知症の周辺症状に対するアセスメントを看護・介護スタッフ間で共有し統一したケアを提供することで、速やかな改善効果が得られます。
- 日常的な生活記録から認知症の種類を仮定し、治療方針やケア内容の見直しにつなげることができます。

【熊谷式 3 期分類の 3 つの表情】

※京浜病院での取り組みをもとにセントケアにて作成

表情	状態像	主な周辺症状(BPSD)
<p>混乱期</p>  <p>● 苦悩に満ちた険しい表情 ● 眉間にしわを寄せている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分のしていることがわからない ● 孤立していて、危害を加えられると感じている ● 何を言っても聞き入れず、会話も成立しない ● 外部との接触がとりにくくなる ● 視線は合わない 	<ul style="list-style-type: none"> ● せん妄 ● 妄想 ● 睡眠障害 ● 幻覚、幻視 ● 介護への抵抗、暴力 ● 移動、不穏、興奮
<p>依存期</p>  <p>● 困惑、困った表情 ● 眉間に縦じわ、眉尻が下がる ● 無表情に近いときもある</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 意識がはっきりしていて意志疎通が図れる ● 一人になることへの不安でいっぱい ● 過度の依存心と甘えがある ● 周囲が静かになると騒ぐ ● 大勢の中にいると精神的に落ち着く ● 視線は合う、哀れみの眼差し 	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護への抵抗 ● 多弁 ● 妄想 ● 依存
<p>昼夢期</p>  <p>● 眉間にしわはなく、何やら落ち着いた表情 ● 嬉しそう、幸せそうな表情</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 元気がなくなったように見える ● 時間の概念がない ● 全てを自分の知っている世界の出来事として捉えている ● 周囲の状況及び自分を取り巻く環境を理解できない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 幻覚、幻視 ● 一人遊びをしている ● 独り言を言う

対処法
安心感を与えてあげることが大切
 ● むやみに身体に触れず、不必要な介入を控える
 ● 興奮により転倒の危険もあるため周囲から危険物を取り除いておく
 ● 介護者は前に立ちほだからず横や後ろから介助を行う
 ● 部屋は明るいままにし、リラクゼーション音楽などが効果的

対処法
一人にしないように努める
 ● 人が見えるところ、声が届くところに居てもらう
 ● 同じ話を繰り返すことがあるが、無視をせず根気よく聞く

対処法
本人の好きなように生活させてあげる
 ● 個人の世界観を否定したり壊したりしない
 ● 話を聞きながら聞き入れる

ご参考

■会社概要

社名	セントケア・ホールディング株式会社
本社所在地	東京都中央区京橋 2-8-7 読売中公ビル 5F
代表者	代表取締役会長 村上 美晴 代表取締役社長 森 猛
設立年	昭和 58 年 3 月 24 日
資本金	1,009 百万円 ※平成 25 年 12 月末日時点
上場市場	東証 JASDAQ (2374)
事業内容	介護事業等を展開する傘下子会社の経営管理、並びにそれに付帯する業務
ホームページ	http://www.saint-care.com/

【セントケア・グループについて】

[子会社数] 22 社

[スタッフ数] 9,317 名(正社員 2,224 名、契約社員 7,093 名)

[連結売上高] 28,646 百万円(平成 25 年 3 月期)

[拠点数] 451 カ所

[事業内容]

訪問介護サービス、訪問入浴サービス、訪問看護サービス、居宅介護支援サービス、
定期巡回・随時対応型訪問介護看護、訪問リハビリテーション、グループホーム、デイサービス、
ショートステイ、有料老人ホーム、小規模多機能型居宅介護、福祉用具機器/介護用品販売・レンタルサービス、
住宅リフォームサービス、アウトソーシング事業、人材派遣サービス、調剤薬局、ペットおよびペット用品販売、
動物病院経営、少額短期保険業

※平成 25 年 12 月末日時点